

普通科の魅力化に向けた検討の進め方について

1 昨年度の状況

部会を2回開催し、「探究的な学びの充実」「コース制のあり方」「普通教育を主とする学科における普通科以外の学科の新設」について意見交換を行った。



今後一段と生徒数が減少していく中で、一人一人の学びのニーズも多様化していることから、各高校が今後も子供たちに選ばれる学校であり続けるためには、「この高校に通えばこれが学べる、こういうことが経験できる。」といった特色を一層積極的に打ち出す必要がある。

2 今年度の検討事項

(1) コース制のあり方

普通科の魅力化・特色化への対応として導入を進めてきたコース制について、成果の検証とニーズの把握を行い、今後のコース制のあり方を検討する。

検討の内容

コース制についての調査結果を踏まえ、以下の事項について議論する。

- コース制の成果と課題を踏まえた普通科の魅力化・特色化につながるコース制のあり方や設置コースについて
- 中学生・保護者のニーズに応えるコース制のあり方や設置コースについて

(2) 各高校の特色化を後押しする方策

検討のイメージ

- 特色ある取組事例を事務局で収集し、それらの取組のねらい、効果、課題などを整理して議論。
- 特色ある取組を効果的に発信している事例を事務局で収集し、対象者、手法などを整理して議論。

コース制のあり方について

1 普通科におけるコース制とは

- 生徒の多様なニーズに応えるため、普通科の教育課程に体験的・実践的な専門科目等を3年間で10～18単位程度取り入れている。
- 2002年度に初めて情報活用コース、福祉実践コース、国際コミュニケーションコースを設置しその後順次拡大した。さらに、一部で総合学科や専門学科への改編を行ってきた。

南陽（情報活用・福祉実践→総合学科）、瀬戸北総合・岡崎東（福祉実践→総合学科）
 豊田東（国際コミュニケーション→総合学科）、豊橋西（情報活用→総合学科）
 尾北（国際コミュニケーション→英語科→国際教養科）
 刈谷北（国際理解→国際教養科→国際探究科）、瑞陵・岡崎北（コスモサイエンス→理数科）

- 2024年度は29校に設置されている（コースの種類は19種類）。

2 コース制の検証

本年5月から6月にかけて、コースを設置する高校の校長にアンケートとヒアリングを実施した。

(1) 良さ

- 生徒自らが選択して学んでいるため、進路目標が明確であったり、学習への満足度が高かったりする。
- コースの教育内容を軸として、地域や大学等と積極的に連携を進めることができる。
- 生徒の興味・関心や進路希望に応じた少人数教育が可能となる。
- 専門学科でなくても、一定程度の専門的な教育が受けられる。
- コースで学ぶことで得た知識や新しい視点が、大学での学びや社会に出ても役立つ。
- 校内外で成果を発表する機会が多く、プレゼンテーション能力を身につけることができる。

 コース制は、普通科の魅力化・特色化をすすめるうえで、有効な取組といえる。

(2) 課題

- 定員が充足しない。
- 時代の変化に伴い、コースの種類によっては教育内容が一般化・標準化している。
- 1学年20人から40人と小規模なのでコースの活動が目立たない。
- カリキュラムが異なるため、コース選択後に他のコースや類型に変更できない。
- 設置している地域や学校が限られているため、生徒の居住地によっては学びたいコースに通えない。
- 地域や大学等との連携に係る調整など、授業準備に関する教員の負担が大きい。

 こうした課題を改善するとともに、時代のニーズにあったコースに見直し、さらなる魅力化・特色化に取り組む必要がある。

各普通科高校の特色ある取組事例について

1 概要

本年6月に県立普通科高校に事例を把握するための調査を実施し、さらにコース設置校を始めとする一部の高校長にはヒアリングも実施した。

回答のあった取組のうち主なものを、「授業における取組」「授業以外での取組」「魅力を地域や中学校へ周知する際の工夫や取組」に整理した。

2 特色ある取組事例

(1) 授業における取組

① 地域・大学等と連携して実施している取組

- 愛知大学との高大連携により、総合的な探究の時間で、大学生から助言や指導をもらっている。(天白)
- 総合的な探究の時間で、市内観光ボランティア等の地域人材の協力を得ながらフィールドワークを実施した。昨年度は愛知大学キャリア支援センターとの連携・協働で市の魅力創出プロジェクトに参画した。(津島東)
- 科目「公共」の授業時に、阿久比町とタイアップして模擬選挙を実施している。(阿久比)
- 近隣の中学校の教員を対象に、相互に授業参観と協議会をしている。(豊野)
- 総合的な探究の時間を「グローバル・スタディーズ」という学校独自の名称で、広い視野と探究心や教養の獲得などを目的として取り組んでいる。1, 2年生は学年末に他県の高校とオンライン合同発表会を開催している。(安城東)

② 校内・教員で工夫して実施している取組

- 総合的な探究の時間で、社会課題やキャリア形成におけるテーマを設定し、クラスを横断したグループで議論・討論を行っている。(千種)
- 1年生での総合的な探究の時間を「理数探究基礎」で代替している。ここでは、グループごとに仮説を立て、実験やアンケートで得られたデータに基づいて検証し、成果を校内で発表している。(松蔭)
- N I E (新聞を教材として活用する教育活動) や体験型プログラムで探究活動の充実を図っている。(春日井西)
- 総合的な探究の時間で、キャリア教育とリンクして、「なりたい自分」、すなわち自己実現のために自ら学ぶ目的を考えさせる機会を創出している。(江南)
- 家庭科で、防災教育の一環として、空き缶を使った炊飯「サバメシ(サバイバルメシ)」を作る時間を設けている。(西春)
- 3年間を通した探究活動(Nラボ)を実施している。(丹羽)
- 総合的な探究の時間に、新たなプログラム「BRIDGE(=架け橋)」を開始し、SDGsをテーマとした課題発見型の探究学習に取り組んでいる。2年生の夏休みにはフィールドワークを実施し、年度末には、学年ごとに成果発表会を開催している。(一宮南)
- 単元ごとの授業マネジメントシートを作成し、評価の観点の明確化と授業ごとの振り返りを行っている。(知立東)

(2) 授業以外での取組

- 課外探究活動として、希望者を対象に授業後にフィールドワークを行っている。研究結果は成果報告書にまとめている。(千種)
- 緑区の区政運営に関する会議など地域の活動に積極的に参加している。(鳴海)
- 読書の啓発活動や知的好奇心を高める取組を通して、図書館の充実を図っている。(名古屋南)
- 応募が全国規模の「短歌大賞」や、地域住民や中学生の見学を受け入れている「図書館まつり」を実施している。(瀬戸)
- 保護者会で、生徒自身がタブレット端末を活用して、保護者と担任に向けて、「なりたい自分」についてプレゼンをしている。(江南)
- 現地集合形式の探究型修学旅行・遠足を実施している。(津島東)
- 「ホームカミングデー」と称した、50歳を迎えた卒業生による講義・講演を実施している。(横須賀)
- 生徒を主体とした他校・異校種と協働する防災教育を実践している。(大府)
- 普通科＝教養科というコンセプトに基づき、東京大学と連携したオンライン教養セミナーを実施している。(安城東)
- 地域活動部が、三州瓦の鬼師、自動車部品メーカーと共同で企画した金型を使った鯛焼きを販売している。(高浜)

(3) 魅力を地域や中学校へ周知する際の工夫や取組

- 同じ予算でも多くの部数を作成できるように、学校案内をA5サイズに小さくして近隣中学校に配付した。(高蔵寺)
- 「中学生のための学校開放日」を設定し、中学生に校内を自由に見学してもらっている。(高蔵寺)
- 体験入学で、付き添いの保護者に対して、PTA役員による「保護者目線の個別相談」を計画している。(丹羽)
- インスタグラムを教員監督のもと、生徒に投稿管理させている。生徒の目線で興味や関心が持てる内容を投稿することで学校の魅力が伝えられるようにしている。(豊野)
- 1年生へ入学動機アンケートを実施している。結果を集約・グラフ化して近隣中学校へ情報提供している。(安城東)

3 今後の活用方法

全県立高校に上記の特色ある取組事例を周知し、各学校が取り組む魅力化・特色化に役立ててもらおう。

また、各学校の特色ある取組を、県教育委員会のホームページ、X(旧Twitter))等を活用して広くPRしていく。

愛知県立高校における普通科コース制一覧

コース	学校	設置年度	募集人員	
国際コミュニケーション	日進*	2002	20	英語の基礎学力の向上を図るとともに、外国事情等に関する幅広い知識を習得し、コミュニケーション能力や国際化社会に適応できる能力を育成し、国際感覚を磨く。
	阿久比	2005	40	
国際理解	中村	2019	40	我が国及び諸外国の歴史・文化・言語に対する理解を深め、国際社会に積極的に参加するために必要な素養を身に付けた人材を育成する。
	一宮西	2017	40	
	津島	2007	40	
	常滑	2006	40	
	安城東	2018	40	
	豊橋東	2006	40	
情報活用	安城南	2006	40	コンピュータを活用した情報処理の方法や、インターネット等による新しい情報伝達方法を学習し、高度情報通信社会で生活するのに役立つ力を育成する。
情報ビジネス	尾西	2017	40	情報科目に職業科目を加えた教育課程を編成し、資格取得を目指して ICT 機器の活用能力等の向上を図る。
	東浦	2019	40	
	衣台	2018	40	
	一色	2018	40	
自然探究	田口	2006	20	野外調査や野外体験学習を通して、郷土についての理解を深めるとともに、環境に関する基礎的な知識を身に付け、自然環境を保護する態度を育成する。
自然科学	加茂丘	2009	40	実験・実習等を通して、自然科学の基本的な概念、原理・法則などについての系統的な理解を深め、今後の自然科学研究を支える人材を育成する。
人間環境	日進*	2007	20	実習や体験活動を通して、人と人を取り巻く環境とのかかわりについて理解を深めるとともに人間のよりよい生活を支える環境のあり方について学ぶ。
環境防災	海翔*	2015	40	人間と自然科学との関係についての学習に加え、自然災害や防災に関する学習を行い、防災や減災についての実践力を磨き、防災リーダーの人材を育成する。
教育	半田東	2018	20	大学等との連携のもと、幅広い教養、人間性、社会性、道徳性など教員に求められる資質を身に付けた人材を育成する。
	豊橋南	2018	40	
子ども発達	武豊	2018	40	大学等との連携のもと、幼児教育の場で必要とされる基本的な知識を学ぶとともに、保護者に求められる人間性、社会性の資質を備えた人材を育成する。
福祉実践	一宮北*	2010	20	福祉に関する基礎的な科目の学習や実習を通して、高齢社会における福祉実践の具体的方法を学習するとともに、人を思いやる心や奉仕の精神を育成する。
	福江*	2003	20	
福祉探究	一宮北*	2017	20	大学等との連携のもと、上級学校への進学を視野に入れた教育課程を編成し、障害者福祉や特別支援教育に係る分野等で活躍できる人材を育成する。
医療・看護	豊田	2017	40	大学・専門学校や病院との連携のもと、医療・看護の仕事についての学習や体験的な活動を通じて、社会に貢献できる医療・看護者を育成する。
	長久手	2018	20	
美術	東郷	2017	20	美術の幅広い創造活動を通して、芸術文化についての理解を深めるとともに、感性を高め、創造性と豊かな表現力を備えた人材を育成する。
創造表現	名古屋西	2018	40	演劇・ダンス・情報表現の授業で、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などの表現力を育成し、グローバル社会に通用する人材を育成する。
理数	春日井	2022	40	理数教科に関する専門的な学習や探究的な活動により、ものづくり愛知の持続可能な開発を支えるリーダーとして活躍できる人材を育成する。
観光ビジネス	足助	2023	20	観光資源を生かした体験的学習などを通して、おもてなしの心と確かな学力を身に付けた、幅広く地域を支える人材を育成する。
	福江*	2018	20	
企業連携	守山	2022	40	職業学科の科目や地域産業界と連携した実習を単位認定する教育システムにより、地域企業の即戦力となる人材を育成する。
	幸田	2022	40	
スポーツ	海翔*	2005	40	運動の合理的な実践や理解を通して健康の増進や体力の向上を図り、健康な生活を送る能力を育てるとともに、生涯通じてスポーツに親しむ態度を育成する。